

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 2020 年 3 月 30 日

設置・運営主体	社会福祉法人絆友会		
設置主体	社会福祉法人		
経営主体	社会福祉法人		
事業所名 (施設名)	たじま絆保育園	種別	保育所
所在地	〒 338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島3-13-4		
電 話	048-711-5697		
FAX	048-711-5698		
Email	yoshio.kawana@hanyuukai.biz		
URL	http://tajimakizuna.hanyuukai.biz/		
施設長氏名	川名美雄		
調査対応担当者	川名美雄	(所属、職名：施設長)	
利用定員	90名	開設年	平成 29 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが生き生きと過ごし、無限に成長できる保育園 ・子どもたち一人ひとりの成長を理解し、共に育てる保育園 ・子どもを安心して託し、子育ての楽しさを十分に感じられる保育園 <p>保育の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生き生きと遊べる子どもに育てます。 心を弾ませ、身体をいっぱい使って遊び、食べることに興味を持たせます。 2 無限に成長できる子どもに育てます。 子ども達の限界を大人が決めずに、様々な事を経験できるように関わります。 3 子ども一人ひとりの成長を理解し、育てます。 一人ひとりに合わせた関わりを常に考え、保護者と共に理解を深めます。 4 他人も自分も大切にし、命を尊ぶ子どもに育てます。 地域のお年寄りや、身近な人に感謝の気持ちを持たせます。 5 自分の思いを表現できる子どもに育てます。 感じたことや想像したことを、音楽や造形で自由に表現できるようにします。 			
開所時間 (通所施設のみ)	7 : 00 ~ 19 : 00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1	6	2
1歳児	16	18	1	18	3.5
2歳児	17	18	1	18	3
3歳児	17	21	1	21	1
4歳児	17	18	1	18	1
5歳児	17	16	1	16	1
計	90	97	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		17人	
うち	保育士	15人	保健師・看護師 0人
	栄養士・調理員	2人	その他（0）人
非常勤職員数		12人（常勤換算 5人）	
うち	保育士	9人（常勤換算	3.9人）
	保健師・看護師	0人（常勤換算	人）
	栄養士・調理員	1人（常勤換算	0.5人）
	その他（2）	人（常勤換算	0.6人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3人	非常勤： 0人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 0人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		38歳（38.5歳）	
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		6年（2.5年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	294.16 m ²	
	児童1人あたり	32.6 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	292.47 m ²	
	児童1人あたり	4.3 m ² (計算式: 園庭面積合計÷2歳児以上定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	29年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・ 苦情受付の案内を掲示及び手紙で配布
- ・ 第三者ボックスの設置
- ・ 年3回のアンケート配布「絆祭り」「運動会」「満足度調査」
- 結果も保護者に配布している。その為、回収率も90%以上
- ・ 年2回の個人面談で「保育園へのお願いありますか」と職員が確認する。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

○少人数担当制……0、1、2歳児期はアタッチメント（愛着）が形成される大切な時期です。アタッチメントとは、親や祖父母や保育者など、日常的に世話をしてくれる人を通して子どもの中に形成される「心理的な絆」のことです。当園の0、1、2歳児クラスではこのアタッチメントを大切に、年齢に応じて3～6名のお子様を特定の保育士が主に担当し、こまやかな対応を心がけています。

○コーナー保育……お子様は周りの環境や雰囲気にとっても敏感です。自分にとって居心地の良い場所かどうかということを感じ取ります。保育室は小さなお子様にとっては、ただ広くて落ち着かない場所になりかねません。そこで保育室を睡眠、活動、排泄、食事のスペースに分けます。また、ままごとやブロック、絵本などいろいろな遊びのコーナーを用意し、子どもが好きな遊びに集中できるようにするなど、家庭と同じような環境を作っています。

○食育……食は生命保持の源です。「食育」では、子どもが自分で好きな食を選ぶ能力を身に付けるなど、一人ひとりが自分の健康を守り、健全で豊かな食生活をおくる力を育てます。毎日食べる物への感謝の気持ち、旬の食べ物から季節の移り変わりを感じる心、また五感の働きを通しておいしいと感じる感覚など、体だけでなく「心」も育てます。

○体育遊び……3歳以上児は年齢別年間体育プログラムに基づいて体育遊びを行い、健康な体作りに取り組みます。園の遊戯室での跳び箱、マット運動、鉄棒等の体育活動を思い切り体を動かして体育遊びを楽しみます。

○音楽遊び……1歳以上児組では、音楽遊びを月1回以上取り入れて活動します。音楽に合わせて楽しみながら体をのびのびと動かすことで、歩く、走る、跳ぶ等の基本的な運動機能の発達を促します。音を聴く力やリズム感を身につけ、様々な音（強弱・長短・早遅・明暗等）を聴き、音に合わせた表現を楽しみます。発達、年齢に合わせた年間プログラムを通して、心身両面の成長を促します。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

_____ 0 _____ 回 （平成 _____ 年度）